

## Teams（ブレイクアウトルーム）とロイロノートの有効活用



### 協働的に問題解決をする場面の設定

同じ教室内でも、ブレイクアウトルームを設定すれば、ハウリングすることはありません。課題解決のために、顔を見合わせてのグループ活動が可能となります。

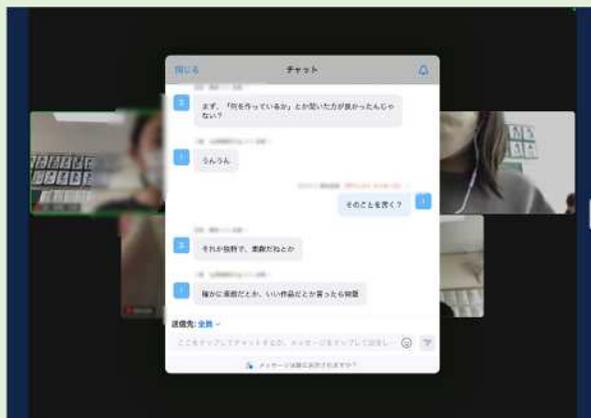


### 対話的な学習活動～Teamsとロイロノートの併用～

ブレイクアウトルームで分かれたあと、生徒間通信ができる状態にします。

話し合いながら、自分の作ったカードを送り、話し合いながら学びを深めていきます。

## Zoomブレイクアウトルーム～チャットで対話～

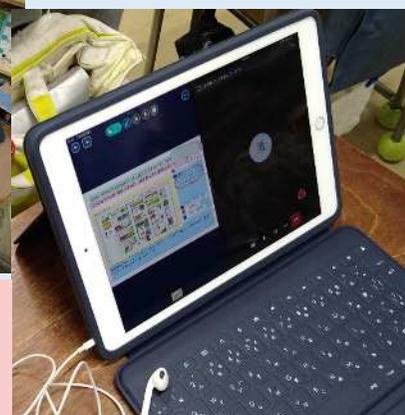


### 対話的な学び ～チャットで対話～

Teamsでブレイクアウトルームを開くときに、重くて時間がかかってしまうので、Zoomを使ってみました。今回は登校している子どもが多かったので、「チャットでの話し合いの方が便利」という声があがりました。自分たちで、その場に合った学習方法を選択しています。

ICTインフルエンサー 作成

## Teamsブレイクアウトルーム～発表会の練習～



### 英語発表会練習

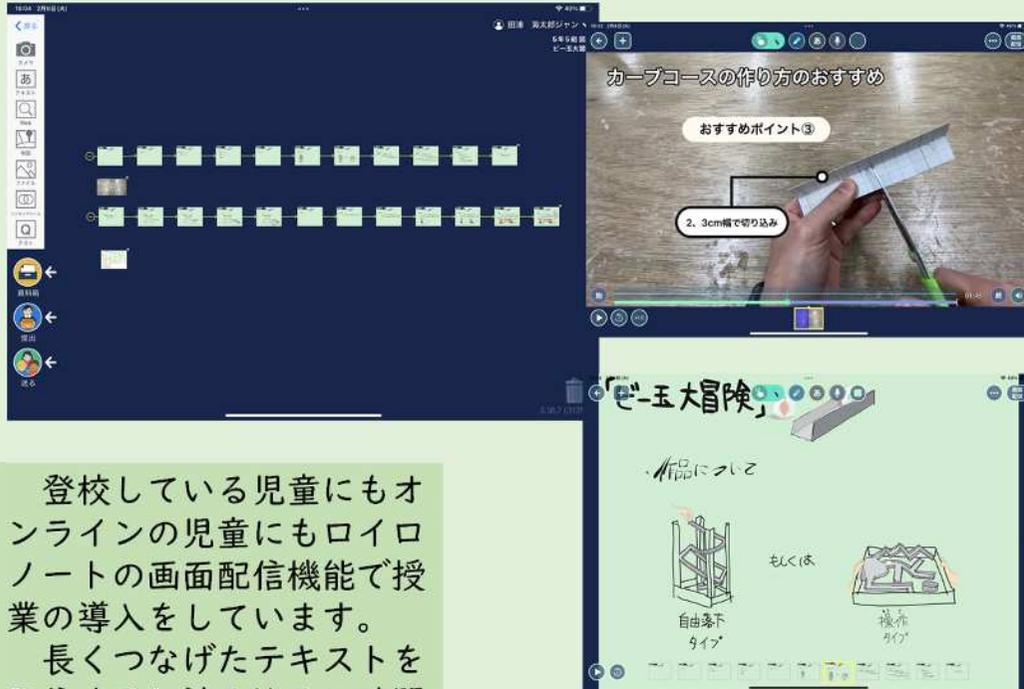
Teamsのブレイクアウトルームを使いながら、相手にロイロノートのカードを見せたり、声を聞き合ったりと、抵抗なく自分たちで練習を進めることができます。



### 教室環境ちょっとご紹介

- ・パソコンでTeams
  - ・iPadでロイロノート
  - ・音声はスピーカーフォン
- この他に、三脚にiPadを立ててそちらもteamsに参加。教室の子どもたちの様子を映しています。

## ロイロノートの画面共有で導入



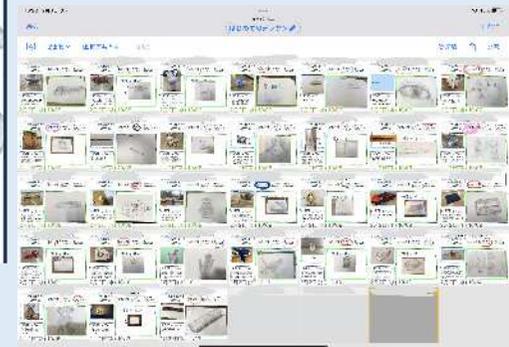
登校している児童にもオンラインの児童にもロイロノートの画面配信機能で授業の導入をしています。

長くつなげたテキストを配信すると読み込みに時間がかかるので、区切りの良いところで分けたり、動画は動画だけで共有したりしています。

楽しくなるような資料にしようと絵を入れています。

「声はTeams、資料はロイロ」に子どもたちもとても慣れました。

## 児童ごとの進捗の把握・成果の共有



授業ごとに作品の写真を撮り、ロイロノートでテキストに貼り付けて提出させています。

作品が完成していく流れが見え、オンラインの児童でもどのように学習に取り組んでいたか把握することができます。

児童も見通しをもって授業に臨むことができ、完成に向け意識して取り組むことができます。

振り返りまで書けるテキストにすることで、初めから終わりまでを一つのテキストで確認することができます。

提出箱を共有し、友達の作品やその思いに触れることで同じ教室にいなくても友達の作品を鑑賞することができます。

ICTインフルエンサー 作成

## Teamsで課題を提出させて、コメントを返信する

### 言語活動の充実～教科「日本語」の実践例～

教科「日本語」で投書に取り組みさせた時、生徒に作文用紙に書くか、Wordに書くか選択させました。Wordを選択した生徒には Teamsの「課題」機能を使って課題を配信して、提出させました。



### 「課題」機能の活用



Teamsの画面下部に「課題」というアイコンがあります。これを使うと課題の配信・回収・コメント送付等が簡単にできます。

### 教師からのフィードバック



フィードバック機能で、コメントを入れて返却するのも簡単にできます。

## クラスの連絡におけるTeamsの利用

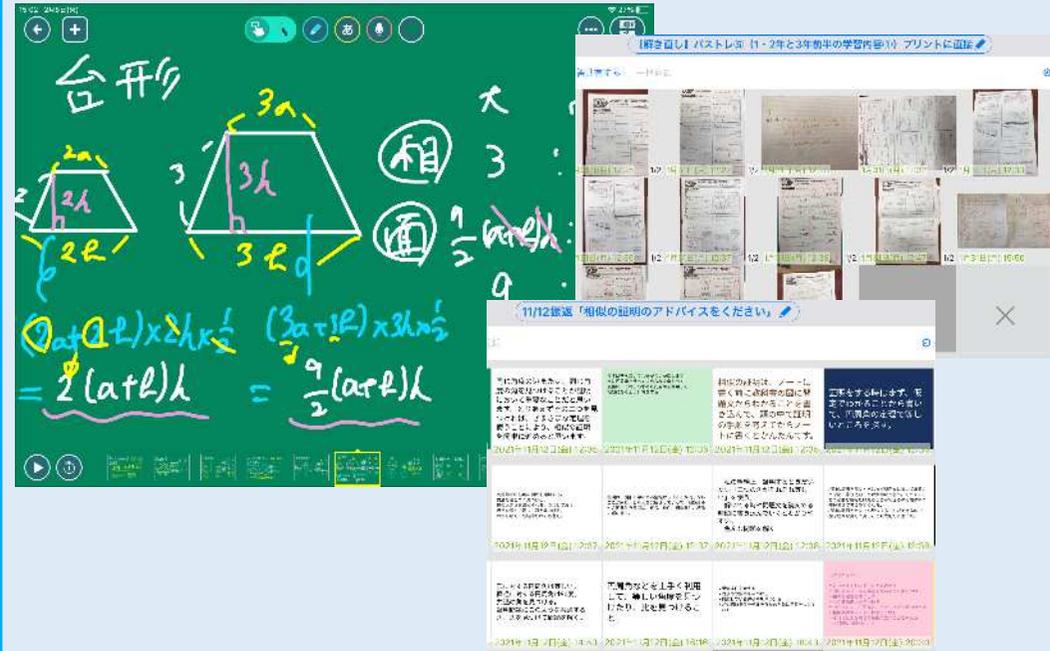


クラスのTeamsを使って毎日オンラインで学習する生徒に連絡をとっています。

「@名前」で個別指定でメッセージを送れるので提出物の管理もしやすくなっています。

ICTインフルエンサー作成

## 板書を全てロイロノートに



1年間、板書やワークシート、振り返りなどをロイロノートで継続して配信しました。オンライン学習の際も黒板だと字が見えづらいなどありましたが、ロイロノートの画面共有だと、ほぼ不満はありませんでした。教科書なども同時に流せるので、「今何をしているの?」と分からなくなる生徒は激減し、指示が通りやすかったです。

また、「提出箱」や「資料箱」を利用して、意見交換や課題の提出をしたりより深い学びを実現できます。

自宅学習と教室を結ぶ



What 's This?  
~クイズ大会をしよう~

ロイロノートの生徒発表の機能を活用して、英語でクイズ大会をしました。みんなで同じ画面を見てヒントもたくさん出せます。

モニターとタブレットを繋げば、自宅で学習している子どもも発言できます。みんなで楽しむことができます！

ICTインフルエンサー作成

学習計画表の作成

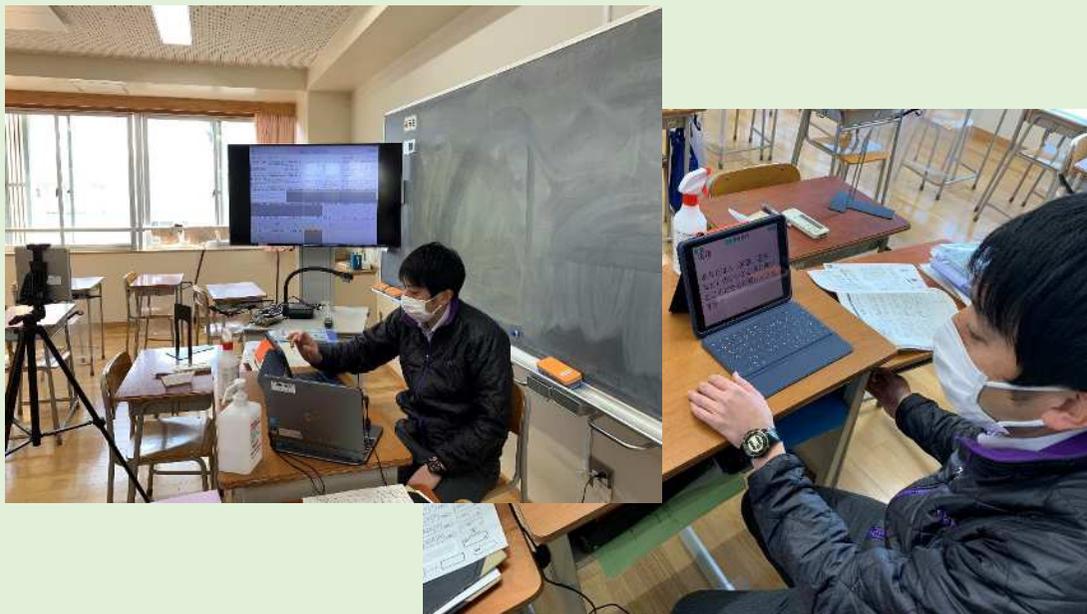
学習計画表		世田谷区の様子や人々の生活の様子はどのようにうつりかわってきたのだろう。			
		交通	土地利用	公共施設	人々の生活
自分へ、何をどのように伝えたいか	問い (めあて)	今までどのようにして移り変わってきたのだろう？	どのように農家や住宅が移り変わってきたのだろう？	学校や区役所はどのように移り変わってきたのだろう	人々の生活は、どのように移り変わってきたのだろう？
	どのように調べるか (調べ方)	IPadを使って昔の交通の写真や今の交通の写真を見てどのように移り変わってきたのか調べる。	Padで今と昔の同じ所の写真を見てどのように移り変わってきたのか見比べる。	世田谷区のホームページをみる	昔の人々の写真や今の写真を見てどのように人々の生活が移り変わってきたのか調べる。
	何をふりかえるか	昔と今の違いや疑問に思ったことを振り返ります。	土地利用の変化について振り返る。	いまと昔の公共施設の違い。	昔はどのように移り変わってきたのか振り返る。



自分で学ぶための工夫

単元の学習に対して、自分で学習の計画を立てます。学習問題に対して「めあて」「調べ方(学び方)」「ふりかえり」の3つの視点で考えます。自分で考えることで急にオンライン学習になった時にも自分の力で対応していくことを目指します。

## Teams & ロイロノート ~ 通常授業 ~



Teamsとロイロノートに同時にアクセスして授業を配信しています。Teamsでは音声を届け、ロイロノートでは画像を届けています。

対面授業をしている時も、ロイロノートで画面を配信しながら授業をしていることが多かったので、オンラインになっても対面授業と同じように授業を展開できます。

## Teamsブレイクアウトルーム ~ 生徒同士の話し合い ~



一方通行になりがちなオンライン学習でも、ブレイクアウトルームを利用することで話し合いが活発に出来ます。

授業がスムーズにできるよう、あらかじめルームを作成し班ごとに割り振っておきました。教員も各ルームに参加して、生徒のやりとりを確認することが簡単にできます。

ICT支援員 作成